

第12回 江戸川区廃棄物減量等推進審議会 議事録

開催日 平成16年8月20日(金)

会場 江戸川区民センター(グリーンパレス)2階 芙蓉の間

議題 《第2期・第3期合同審議会》
～「循環型社会に向けた清掃・リサイクル事業のあり方
について」の提言及び第3期審議会委員の委嘱～
会長あいさつ
区長への提出
区長あいさつ
退任委員あいさつ
第3期審議会委員の紹介
会長・副会長の選出(委員の互選)
会長・副会長あいさつ
次回審議会の日程など

江戸川区廃棄物減量等推進審議会事務局
(江戸川区環境防災部清掃・リサイクル課)

【事務局（原部長）】

それでは、廃棄物等減量推進審議会を始めさせていただきます。

本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今回の審議会は、第2期の終了と第3期のスタートということで、引き継ぎを兼ねまして、第2期と第3期の合同審議会ということにさせていただきます。

本日の主要議題は二つございまして、一つはこれまで審議会で検討してきました集大成としてまとめさせていただきました提言書を区長に提出していただきます。もう一つは第3期の審議会委員の皆様への委嘱でございます。この審議会委員の皆様への委嘱につきましては、略儀ではございますが委嘱状を机上に配付させていただきますので、ご確認のうえ、ご了承願いたいと思います。

なお、本日、牧野享介委員、柳操委員、高橋芳子委員、松本千秋委員、岡部利定委員は都合がつかないということで欠席となっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、岡島会長、よろしくお願いいたします

【岡島会長】

はい。それでは、ただいまから、「第12回江戸川区廃棄物減量等推進審議会」を開会いたします。

それでは、皆様のお手元にございます議事にしただいで進めさせていただきます。

この「循環型社会に向けた清掃・リサイクル事業のあり方について」というお手元にある報告書でございますが、審議会として審議してまいりました内容を「提言のまとめ」という形にしまして、区長に提言したいと思います。

提言に先立ちまして、会長として一言ごあいさつ申し上げます。

この提言は、後ほどまた、副会長で、専門家の松田先生から講評もあらうかと思っておりますけれども、非常にユニークな中身になっておりまして、先ほども原部長ともお話をしましたが、いわゆる「御用審議会」的な審議会の答申とはまったく違ったもので、むしろ審議の内容がかなり入ってきて、ナマの声が随分取り上げられておりまして、逆に行政のほうが、むしろあおられるという形になったということにして、非常に中身の濃いものになったのではないかと思います。

そしてまた途中、この審議会がエコセンター設立の審議も兼ねて、現実にエコセンターは今年の4月に発足しました。そのような副産物もありまして、第2期委員の皆様には非常にご苦労いただきまして、成果物もたくさん出た審議会ではないかと思っております。本当に長い間ありがとうございました。

本日、自信を持って区長に提言書を差し上げたいと思っております。

それでは、区長、お願いします。

《多田区長に提言書を渡す》

それでは、多田区長より一言ごあいさつをいただきたいと思います。

【多田区長】

皆さん、こんにちは。

今年の夏は大変暑く、皆さん方もいささかこの暑さに辟易しておられるかと思いますが、でも夏らしい夏であったと思っております。皆様、本当にお元気で何よりでございます。

今、岡島先生からお話がありました、この2期4年間のまとめを今日頂戴いたしまして、誠にありがたく思っているところでございます。岡島先生、松田先生を始め、委員の皆様方に大変精力的なご審議をいただきまして出来上がりました提言でございます。

実は私もすでにこれを読ませていただきましたが、非常に感銘深く読ませていただきました。あまりざくばらんに申し上げるのは恐縮ですが、今、岡島先生が少し触れてくださいましたのでお話いたします。

通常、審議会と言いますと、どうしても行政側がいろんな原案を作りまして、それをご審議いただくというのが通例でございます。しかし、これはまさに皆さん方が作り上げてくださった内容でございます、その意味で画期的な、素晴らしい提言をいただいたと思っております。

幸いにいたしまして、環境問題の第一人者といわれる岡島先生に会長をお務めいただき、さらにごみ処理問題の権威でいらっしゃる松田先生と、大変素晴らしいリーダー格の委員を頂戴して、各委員の方々も積極的にご自身の考えを十分ご披露いただき、大変内容のあるものになったと思っております。

私も、環境防災部長を始め職員に「これは素晴らしい内容だから、一人でも多くの方々に十分咀嚼して読んでいただいて、この提言が江戸川区民のなかに広く浸透していくような努力をしなければいけない」と伝えました。そして、そのことをしっかり考え、これからどう活かしていくか、江戸川区の様々な活動にどのように織り込んでいくかということ、私たちの課題として取り組んでいかなければならないと思っております。

2期4年間ということではございましたけれど、途中からエコセンター設立のための準備会ということで、同じメンバーの方々にご検討いただきました。平成14年12月以降は二つの議論が並行して進められまして、いろいろとお力添えもいただき、エコセンターも立派に発足することができました。今年の4月から、グリーンパレスに本拠を構えまして、今、様々な事業展開を始めようとしているところでございます。これも岡島理事長を始め、役員の皆様のご努力の賜物と思っております。

さて、エコセンターはできましたが、このセンターが区民の方々から見て、いったい何を展開して、それが地域の環境問題にどう役立っているかということとを十分にわかっていただかなくてはならない訳でございます。発足当初はなかなかそのような姿を見せにくいかと思いますが、これも環境防災部、あるいはエコセンターに私からも指示をいたしまして、エコセンターがどういう取り組みを始めているか、それがどのように地域に広がりつつあるのか、またエコセンターらしい話題がどう生まれてきているかを丁寧に広報しなければいけないと考えています。

皆さん方もご覧になるとお分かりいただけますが、今、広報紙でも特別にエコセンターのアピールについて力を入れて、進めております。これも「一挙に」とはいきませんが、じっくりと考えを練って展開していきたいと思っていますところ です。

先般、岡島先生と長時間、いろいろとお話を承る機会がありました。先生ご自身も環境フォーラムを主宰しておられますし、国の省庁、あるいは様々な諸団体と色々な繋がりをお持ちですので、それを駆使して、大変良い情報もいただきました。また、国のいろいろな資金をエコセンターに導入していただきまして、ありがたいことだなと思っております。こういうことはすべて国に対して、成果を返していくということになりますので、国の方でも江戸川区のエコセンターがどういう活動に踏みこんでいるかということを一層広く理解してもらえることにもなるかなと思っております。加えて、私はエコセンターのこれからの発展・充実と、さらに環境問題そのものが地域の方々の一般的な活動として、広く普及いたしますことを心から願っております。それはまた、皆さん方のリードでそうなるものだと確信もしている訳でございます。

審議会を今期でお辞めになる方もいらっしゃるかもしれませんが、これからも一層、お力添えをいただければありがたいと思っております。

この審議会はずっと続いてまいりますので、基本的には今まで積み上げた論議を、これからもますます発展させていただきたいと思っております。私も先般、岡島先生とお話をする中で、各委員の方々がそれぞれのお立場でいかに情熱を込めて、様々な課題を取り上げて、ご提案くださって、それをまたご自身で実行に移していこうという意欲も示してくださっているとうかがい、この審議会の心のレベルの高さというものを十分に承った訳でございます。そういう意味でこれからも大いに審議会の皆様方にご活躍をいただきたいと思っております。

この報告をいただきましたことで心から皆様方に敬意を表し、これからもより一層、江戸川区の環境問題の取り組みのためにご奮闘くださいますように、心からお願いを申し上げまして私のあいさつとさせていただきます。誠にありがとうございました。

【岡島会長】

区長、どうもありがとうございました。

ここで、本審議会を振り返って、第2期の皆様方にご感想・ご意見をいただくかと思っておりますが、多田区長はご公務のために、ここで退席されることになっております。

どうも、区長ありがとうございました。

《多田区長 退席》

それでは、第2期の皆さんのご感想ということですが、時間も限られておりますので、今期で退任される方を中心に、ごあいさつ方々、ご意見等を聞かせていただければと思います。

順番に私の方から名指しをさせていただきますのでお願いいたします。そして最後に、第2期全体の、特にこの提言書を中心として松田副会長から取りまとめのお話もいただきたいと思っております。

矢作さんからお願いできますか。

【矢作委員】

ただいま会長からご説明がございましたように、2年間、私の前が隣りにいらっしゃいます田口さんだったんですが、田口さんの後を引き継ぎまして、2年間皆様とともに委員を務めさせていただきました。

私の勉強不足からあまりお役に立てなかったかなと大変心苦しく思っておりますけれども、特に先ほどもお話がありましたようにエコセンターというものが立ち上がりました。それに関われたことが私にとっては光栄だったなと思っております。

ここで2年間、皆様とともに勉強させていただきましたが、長かったような、短かったような、あっという間の出来事でございますけれども、これで私は退任させていただきます。

これからも皆様方が「良い審議会委員」として区民のためにご活躍されることを祈念いたしまして、退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

【岡島会長】

はい、どうもありがとうございました。

続きまして、佐藤さん、お願いいたします。

【佐藤委員】

はい、佐藤正兵と申します。

4年間、エコセンターの設立を含めて議論に参加させていただきました。

私は市民運動の立場から、かなり素人的な意見を言わせていただいて、いろいろ失礼があったかもしれませんが、でもこの答申は本当に先ほどから言われ

ているように市民的な意見がたくさん盛り込まれていて、いい内容だなと思っております。

最後に私は川の活動に関係していて、環境学習で子どもたちにいろいろと教えることをして、非常にいい反応が返ってきているので、この「むすび」の4番のところで、「環境教育について」というまとめがありまして、是非これを区の政策として、コンポストが全部の学校に配られているということなので、それを使って堆肥を作り、庭に花を咲かせていただくことをいろいろな方々に協力してやっていただきたいと思います。以上です。

どうもありがとうございました。

【岡島会長】

どうもありがとうございました。

続きまして、倉内委員、お願いいたします。

【倉内委員】

どうも、4年間ありがとうございました。

一主婦の立場から、いろんなことを勉強させていただいて、とても良かったなと思います。生ごみ減量部会のほうがとても発展して行って、それで公園ボランティアという形で、地域の人たちに生ごみの良さというものを理解していただけるような活動も定着してきました。それとエコセンターのごみ減量・リサイクル部会の部会長もさせていただいておりまして、今後この審議会に期待したいのは、事業系ごみについてです。

江戸川区の場合は中小の事業者さんが多い訳ですし、家庭系ごみと事業系ごみの差が感覚的にないような感じがするんですけども、ごみ減量・リサイクル部会で、事業系ごみの削減の一つに役立てばなということで意見がありましたので申し上げます。それは、ダンボールや資源ごみは事業者さんも出るわけですけども、それを地域の団体で拠点回収をしているところや、子ども会・町内会にあげるということが法令上、もう少し緩和していただいて、「無料で使ってもいいよ。あげるよ。」というようにすれば、事業系ごみもその点ですごく減るし、活かされるのではないかということと、それからエコ・オフィス協力会がありますが、それをもっと事業者さんのニーズに応えるようなやり方にしたら、もっとエコ・オフィス協力会が発展するのではないかという意見も出ましたので、これを遺言としておいていきたいと思えます。

どうもありがとうございました。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続きまして、江原さん、お願いいたします。

【江原委員】

皆さん、本当にありがとうございました。

私自身もたいへん勉強になりまして、我が家のごみが4年前に比べると、現在では本当に減っているんです。4年前も決してよそ様と比べて多いほうではないという自負がありまして、それでこちらに応募しましたが、そこからさらにまた進みまして、我が家の生活全般の見直しにもなりまして、今後は我が家のうまくいったケースを一人でも多くの方に広めていきたいです。

そしてまた、倉内さんと同様、エコセンターのほうでも活躍していきたいと思っておりますので、どうぞそちらも見守っていただきたいと思っております。

ありがとうございました。

【岡島会長】

どうもありがとうございました。

ここで、「副会長の」というところですが、せっかくここまで来たので、松本さんや杉本さんも何か一言言わないと収まらないと思っておりますので、一言お願いいたします。

【松本藤隆委員】

それでは、提言書につきまして、大変コンパクトにかなりの内容のものをわかりやすく、具体性をもって提言してもらっていると思っておりますので、自画自賛になるかもしれませんが、よくできたのではないかと考えております。

それと、冒頭の会長並びに区長のごあいさつの中に、この提言書に対するアプローチの仕方というのが出てきていると思うんですね。ですから、特に区長からはかなり具体的にお話をいただきました。たまたま私は引き続きお手伝いをする事になりましたけれども、そういうものを踏まえまして、ご協力していきたいなと思う訳でございます。以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

杉本さん、いかがですか。

【杉本委員】

ありがとうございました。

私は本当に環境問題にしても、ごみの問題にしてもドシロウトで始めまして、多少、気にはなっていましたが、江原さん、倉内さん、佐藤さん、先生方に引っ張られながら、区民・事業者の一人として参加してきました。

今日も「打ち水大会」というものを小岩駅前の昭和通りでやりましたが、本当に下がりましたよ、2度ぐらい。それも新しい水ではなくて、溜めた水、雨水だとか、風呂水だとか、そういうものを一斉に商店街で撒いたんですが、本当に下がりましたよ。何か涼しくなりました。

これもひとえにこの会議で、少しは自分も勉強したおかげだと思っておりますし、

これからも環境問題にとって商店街はごみ発生源の原因をつくっている一つであるということも、本当に言い訳できない部分でございますけれども、一人一人、商店街の中でわかってもらえる仲間を一人でも増やしていきたいなと思っております。

今年も10月1日から一ヶ月間キャンペーンで、ノーポリ・デーを実施します。一斉にやるのは今年で3年目でございますけれども、ポスターを貼ったり、お買い物に何かしら得するような形で、マイバッグで来ているお客様にはお得になるような形で今、取り組んでいるところでございます。

本当に皆さんのおかげで、いろいろ勉強させていただきました。ありがとうございました。

【岡島会長】

どうもありがとうございました。

【松本藤隆委員】

それから、私は生ごみにつきましては全くの素人で、佐藤さん、倉内さん、江原さんは具体的に行っていて、体験している人の話はアピール度が高いものですから、自分の家庭から生ごみを出さないようにするにはどのようにしたらよいかということをお気持ちを代入してやってみてまいりました。これはお三方のおかげだと思いますので、どうもいろいろとありがとうございました。ご苦労様でございました。

【岡島会長】

それでは、議員のお二方、何かございますか。

それでは、3期のあいさつの時をお願いいたします。

牧野さん、いかがですか。

【牧野恵一委員】

エコセンターの設立に関して、皆様のご努力に敬意を払わせていただきたいと思います。

それに伴って、区民の皆様方にアンケート等を伺った時に、本当に江戸川区の皆様は環境に対して、すごく意識が高いなということをおこの2年間で改めて認識いたしました。

【岡島会長】

ありがとうございました。

それでは、総括として松田副会長からお願いいたします。

【松田副会長】

本当にお名残惜しいですけれども、エコセンターのほうで、またご活躍されますので、エコセンターと私たち審議会とが上手に連携しながら、江戸川区の廃棄物政策のサポーター役になっていきたいと思っております。

初めていらした方たちに、この提言書の構成を見ていただきたいのですけれども、この中にすべての情報が入っております。ですから、読んでいただきますと、江戸川区の現状がすべて分かります。私たち、審議会は毎日忙しい中で、一つ一つ、行政のための知恵袋になりたいと思ってやっておりますので、是非読んでいただきたい。

構成の中では、どういうふう具体的にみていくかということ、まず東京都の動向が8ページにありまして、東京都は今後、どのような方向で政策を進めていくかということが書かれています。東京都の次のページに国はどのような方向に動いていくかということがまとめられています。江戸川区の審議会としては、この国の動向と東京都の動向を見ながら、江戸川区の政策を評価しつつ、バックアップしていきます。評価しつつというところではかなり辛口になっても構いません。けれども、バックアップするということでは、あたたかさ愛情です。

ですから、普通の批判団体ではなくて、それぞれが地域の中でできることを全部やっていく。その体験をもって、この審議会の中で行政から出てきた課題解決に向けて、意見を出し合うということです。例えば17ページにありますけれども、「リサイクルリーダー養成講座」というところがございます。これは審議会の中から提案されてきたことです。これに対して、審議会で主な提案内容がこうありました。それに対して、具体的な施策の展開を行政はこのようにしました。その結果を見ながら、私たちは任期を終えるにあたって、今後の施策展開はこうあるべきですということを提案しています。今までの審議会の中で話し合ったこと、それが施策に展開されたこと、今後の問題点というのがここにすべてまとめてありますので読んでいただきたいと思います。

それにしても、これを出す時に事務局の方にも本当にお世話になりました。一番最初に私たちが思ったことは従来の審議会とは在り方を変えたいということが、私や岡島さんの狙いというか、お役を受けた時の考えでした。行政から最初に出てきたものが従来の審議会の答申の域を出ていなかったのも、かなり辛口な、また具体的な提案をして事務局にまたバトンタッチをしましたが、事務局の行政マンの方たちが、他の区の審議会の答申を見ていただけるとわかんと思いますが、全く違った形の、わかりやすい、教科書になるようなものを作り上げていただきました。「行政というのは力があるんだな」とつくづくそう思いました。そしてまた、私たちが案を出していけば行政は働きやすくなるし、頑張ってくれるんだなということがわかりました。

一番、ここで行政がすごいなと思ったのは、東京都・区の中でペットボトルの回収率が一番低いんです。でも、そのことを隠さずに低いのは行政だけなのかしら、私たち自身も問題があるんじゃないかしら、仕組みがうまくいって

ないんじゃないかしら、ということがきちんと書き込んであります。それではどうすればいいのというのは、これからの課題ですから、データが公表された以上、私たちはそれに対して代案を出して解決をしていかなければいけません。

そういう点では、先ほど「これは遺言よ」と言った倉内さんのことですが、でも、事業系ごみ。これは日本国内ですべてに今まだ不明瞭な点がございまして、でも、これは別に事業者さんが隠そうと思っている訳ではなくて、やはりシステムが作られていないからだと思います。ですから、ここには田口さんも牧野さんも、先ほどお話をさせていただきました松本さんも産業界の代表の方でございまして、彼らと連携しながら、江戸川区ならではの事業系のリサイクルシステムを作り上げていくのもいいかなと思って、「もう審議会ですることは無いかな」と思ったんですけども、次の課題を見せられまして、「じゃあ、また、4年後、2年後にはこういう立派な答申を出したいな」と今思いました。

それと最後に、これは私が生ごみ減量部会の部会長として頑張ってきて言えることですが、NPOのエコセンターの中で、生ごみリサイクルが体験できますので、これをきちんと行政としても予算付けの中で委託契約のような形で、今後も守っていただきたいと思います。

私は環境省のある施策の評価の予算付けの審議会の委員をやっておりまして、びっくりしたのは仙台から上がってきた仕組みがこの江戸川方式そのものでした。それで一千万円の予算請求をしておりました。これが可決されるかどうかはわかりませんが、江戸川方式は善通寺市に飛び火して、善通寺市がそれを環境教育のツールとして予算を請求していました。半分予算が付いたら、五百万円が付くはずなんです。そういうことも岡島先生と相談しながら、今、日本の中にはいろんな環境学習とか、市民のコミュニティビジネスとかのプランを出すと予算が付く仕組みというのがありますので、それを循環ビジネスの仕組みも含めて、江戸川システムというものをやってみたいなと、次の審議会への期待をもっております。以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

今度の審議会は、商店街の会長さん、事業の会長さん、それから一般区民の方々、町内会の会長さん、いろんな方が一緒になって、最初のうちはまだお互いがよくわからなかったんですが、そのうち違う業種の方々と非常に歯車が合うようになって、エコセンターも非常に珍しい形で産業界の方も理事になり、今日ここにはいらっやっていない江戸川区内のNPOの活動家の方も理事になり、いろんな方が一緒になって理事になって、エコセンターをつくった訳ですけども、非常にユニークな理事の構成でして、町をあげて、江戸川区をあげてなんとかしようというような意志が表れています。その原動力になったの

も、この第2期の審議会のメンバーだった訳です。そういう意味で、非常に成果が大きかった第2期だったと思います。

この後、また第3期についてお話もあろうかと思いますが、第2期の委員の皆様、本当にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

それでは、ここで一旦、事務局のほうにマイクをお返しいたしますので、よろしく願いいたします。

【事務局（原部長）】

大変ありがとうございました。第2期の審議会の委員の皆様におかれましては、お忙しい中、活発なご審議をいただきまして、このように提言としておまとめをいただきました。誠にありがとうございます。事務局といたしましても、心より厚くお礼を申し上げます。

ここから少し私の本音を申し述べさせていただきますと、実はあおられました。事務局として、普通冒頭にお話があったように、文書を出しますと「それでOK」という感じが多かった訳でございますけれども、いろんな専門の方々の、あるいは生活実感に根ざしたご提案をいただきまして、事務局としても、あるいは行政としても、新しい施策の芽というものができたような気がいたします。これからもその意味でよろしく願いいたしたいと思います。

続きまして、これより、江戸川区の廃棄物減量等推進審議会の第3期の審議会委員のご紹介をさせていただきたいと思います。

それでは、事務局からお一人ずつ委員の皆様のご紹介をいたしますので、恐縮でございますけれども、その場でお立ちをいただきますよう、願いをいたしたいと思います。順不同で進めさせていただきます。

まず、岡島成行委員。松田美夜子委員。島村和成委員。河合恭一委員。杉本英臣委員。松本藤隆委員。牧野恵一委員。田口勝久委員。松川香委員。都丸れい子委員。野淵和久委員。星野則久委員。柳澤一郎委員。

なお、牧野享介委員、岡部利定委員におきましては、先ほど申し上げましたように、本日ご欠席をさせていただいております。よろしく願いをいたします。

引き続きまして、本審議会、第3期の会長と副会長の選任を行いたいと思います。条例上、委員の皆様の互選で行うことが定められていますが、いかが取り扱いましょうか。

【松本藤隆委員】

事務局一任。

【事務局（原部長）】

それでは、事務局に一任という声があったので、事務局よりご指名をさせていただいてよろしいでしょうか。

それでは、岡島先生、松田先生のお二人とも引き続き、本審議会委員をお引き受けいただきましたので、会長、副会長としても引き続きお願いをしたいと思いますが、いかがでございましょうか。

《審議会委員一同拍手》

それでは、岡島先生、松田先生、よろしくお願いいいたします。

ここで、改めまして会長、副会長にごあいさつをいただきたいと思います。

まずは岡島会長、よろしくお願いいいたします。

【岡島会長】

「もういいだろう」と思っていたんですけども、また留任される方も何人もいらっしゃるの、引き続き会長ということでお引き受けいたしました。詳しくは松田さんが後でお話されると思いますけれども、第1期、第2期の成果を踏まえて、ここまで来ると第3期も何か一仕事、二仕事、残さないといけないのかなと思っております。新しいメンバーの方と一緒に、また江戸川区としてユニークなものを作っていけたらいいかなと思っております。

よろしくお願いいいたします。

【事務局（原部長）】

それでは、松田副会長、よろしくお願いいいたします。

【松田副会長】

エコセンターの成長をあと2年見届けておかないといけないだろうなと思いましたが。あと、岡島先生がいらっしゃるのに、勝手に辞める訳にいかないよね、というところで、私もこの審議会はとても楽しいので、遠くに住んでおりますけれども、江戸川区の区民ではありません。けれども、一つの実験場みたいな形になっておりまして、江戸川区の皆さんが本当に頑張っただけですから、さり気なさの中に江戸川区をどういうふうイメージして、東京都の中で素敵な江戸川区に作り上げていくかというところで夢をもっておりますので、よろしくお願いいいたします。

【岡島会長】

ありがとうございました。

それでは、議事進行に移っていきますけれども、今日は第3期審議会の第1回目ということで、ご出席いただきました。

今日は次回の日程などだけで終りということになっておりますが、せっかく第2期の方も残っていただいておりますので、第3期の方に一言ぐらいずつ、お話をいただければと思っております。

それでは、島村さんのほうから。何もなかったら何もなくていいですから。

【島村委員】

この提言について、私どもは全然タッチはしていないんですけども、先ほ

ど区長のあいさつにもありましたし、岡島さんのほうからもありましたように、大変素晴らしい内容でございますので、一生懸命、これを勉強させていただいて、行政、あるいは議会がどういう形でこれを取り組んで、また、いい方向に持っていけるかということ、この審議会で勉強していきたいと思っています。

【岡島会長】

ありがとうございました。

河合さん、お願いいたします。

【河合委員】

皆さん、ご苦労様でございます。

今、島村委員がお話されましたように、議会は住民の声をどのように議会を通じて、行政に届けていくかということが大事な仕事になると思っています。

私も皆さんが作られたこの提言を読ませていただいて、本当に忌憚のない意見を述べられているなというふうに思いました。弱点も本当にあらわになっているなと思って、弱点をあらわにするということは今後、その弱点を克服するためにどうするかということが見えてくるかなというふうに思って、非常に興味深く読ませていただきました。

そういう中で、私が何点か気がついた点がありまして、三つぐらい、私なりの感想を述べさせていただきます。

一つは15ページにあります、生ごみのリサイクル（出口対策）についてということで、特に集合住宅の問題が言われています。多分、江原さんあたりが随分、頑張られたなというふうに思っているんですけども、江戸川区がずっと集合住宅が増えてきて、集合住宅の管理運営そのものが問われる重大な問題になってくると思っています。そういう点で、ごみの減量について、今後集合住宅の管理運営と合わせて、特に分譲マンション等では建設業者の在り方が関わってくるかなと思っていますので、その辺は興味深く読ませていただいて、私なりに研究をさせていただければなと思っています。

二つ目は先ほど松田副会長のほうからお話がありましたように、リサイクルリーダーの養成です。私もリサイクルリーダーは何をするのかなと思って、読ませていただきましたけれども、本当に大事な役割だなと思っています、ここがしっかりしていないと、町会、自治会の中ではなかなか進まないかなと思っています、この点は興味深く読ませいただきました。

三つ目は最後になりますけれども、エコセンターについてです。これは一つの核として、どのように子ども達の環境教育も含めて進めていくかということに興味深く読ませていただきましたので、今後、私も島村委員も含めまして、なかなかずっと連続してできないというのが私達の悩みでもあるものですから、精一杯頑張っていければなと思っていますので、第2期の方、本当にご苦労様

でした。第3期目も引き続き、私自身も頑張りますのでよろしくお願いします。

【岡島会長】

ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

それでは、田口さん、どうですか。返り咲きと言いますか。

【田口委員】

皆さん、私は第1期にお世話になりまして、第2期は我々の業界のほうで矢作さんがやってもらっていたんですが、今度第3期は私が出戻りということやらせてもらうということになりまして、第1期の時は審議会というものはどういうものかなとそういうふうに使っていましたが、終り頃になりまして、これは実際に動く審議会だなと思いましたが、それが第2期になって、第3期になって、これはどれくらい続くのかなと思ったら、区長が今日、これからずっと続くんだという話がありまして、いや、これは恐ろしいな、我々業界としては生きていくには大変だなという気持ちを実際のところ持っています。

でも、我々もそこには活路を開いて、いいことはどんどんやっていかななくては行けないと、そういうふうに使っていますので、これからもよろしくお願いいたいと思います。

【岡島会長】

ありがとうございました。

松川さん、お願いします。

【松川委員】

松川でございます。よろしくお願いいたします。

今、皆様方のお話を伺っておりましたら、第1期、第2期というのは大変なご努力があったようで、3期目の私どもはそれに乘せていただいて、皆様方の後について、今のところ提言書を見せていただいた段階では自分に何ができるかということは皆目見当が付きませんけれども、あくまでも主婦としてご協力できればと思っております。

たまたま住んでおりますのが小松菜の産地の鹿骨というところでございますので、比較的のどかな地域でございますので、その中で何かあるかなと思っております。

どうぞ、足手まといにならないようについていきますので、よろしくお願いいたします。

【岡島会長】

ありがとうございました。

【都丸委員】

都丸と申します。私は集合住宅に住んでおりまして、千五百所帯あります。今日ここに伺って、初めて何か方向性が見えたということでございますので、

ただ、それだけ大きな団地ですので、自治会に関わりながらここで勉強したことをこれから活かしていけたらいいなと思っておりますので、しっかり勉強していきたいと思っております。お世話になります。よろしくお願いいたします。

【岡島会長】

ありがとうございました。

【野淵委員】

何を話したらいいか、今考えているところですが、江戸川区の一番南にございます南弓西から来ております野淵と言います。

今、オリンピックが盛んに行われております。夜中の2時頃からオリンピックを見たり、聞いたりしておりますけれども、「オリンピックは参加することに意義がある」と言われておりますけれども、やはり参加した以上は一番高い所に立たなくてははいけない。金メダルを取りたい。取っていただきたいと願っているところがございます。やはり、審議会に参加するということは参加すればいいという訳ではなくて、参画しなくてははいけない。みんなと一緒に頑張らなくてははいけないなと思っておりますし、先ほど松田先生が言われましたように、やる以上は東京都、いや日本全体の一番高い所、金メダルを取らなくてははいけない。

まだ、このレポートを読んでおりませんが、次回までにはゆっくり拝見させていただきます。先輩の方々が8人、第3期に残っていただいておりますので、その点は私も安心しておりますけれども、私個人は何もわかりませんし、また何もできません。放蕩息子でございますけれども、一つよろしくお願いいたします。野淵でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

【星野委員】

一般公募で入らせていただきました星野と申します。片や、ビジネスとして鉄くずを中心とした金属リサイクルの仕事をしておりまして、その辺からリサイクルの推進を中心に取り組みさせていただけたらなと思っております。

また、先ほどからやはり江戸川方式というお話が出ておりますけれども、ごみやリサイクルだと常に環境省の話しか出てこないんですが、産業経済省のほうでも産業育成ということで取り組まれています。地域循環ビジネスということで審議会でもご審議いただいておりますので、江戸川区としても先駆けとして何かできたらいいなと考えています。よろしくお願いいたします。

【岡島会長】

ありがとうございました。

【柳澤委員】

柳澤です。私は去年までサラリーマンで横浜まで通っていて、地元のことはほとんど何もしていなかったのですが、去年の7月に退社いたしました。今は自宅で仕事をしているんですが、それで地元のために何かできないかということで応募したところ、どういうわけか採用になりまして、委員となりました。

サラリーマン時代の知識も多少はあるかと思しますので、そういうのが活かせればと考えております。

今、暑いのでビールが好きですが、缶ビールではなくて、びんで飲んでおります。

【岡島会長】

ありがとうございました。

それでは一通り終わったところで第2期の方も含めて、皆さん、何かもう一言、二言言いたい、言っておきたいということがありましたら、どうぞ言っていただければと思います。

【松田副会長】

事務局の方からお話をいただけてみたらどうですか。

【岡島会長】

事務局の方の紹介ということですか。

それでは部長。副会長からの要請ですので、事務局の新しく変わった方もいらっしゃるようなのでお願いします。

【事務局（原部長）】

それでは、私のほうから事務局の紹介をさせていただきます。

まず、私は環境防災部長の原でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、それぞれ自己紹介をさせていただきます。

【岡島会長】

後ろの列の方も全員お願いします。

【事務局】

《清掃・リサイクル課職員8名、熱田所長、河野副参事による自己紹介》

【岡島会長】

はい、ありがとうございました。

それでは、第2期で退任される方も、エコセンターでもそうですし、また審議会のほうにもどんどん、ご意見をいただければと思います。

それでは、今後の日程について事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局（原部長）】

次回の審議会でございますけれども、10月下旬頃に開催をしたいと考えてございます。正式な日程等が決まりましたら、文書でご連絡をさせていただきます。

たいと思いますので、よろしく願いいたします。

第3期の審議会でございますけれども、この提言の最後のほうにも書いてございますけれども、一般廃棄物の処理計画ですとか、あるいは家庭ごみの有料化ですとか、容器包装廃棄物の処理等について、ご討議をいただきたいと考えておりますので、9月頃にこれらの関係資料も送付をさせていただきます。事前にそれをお読みいただきまして、次回の審議会にご出席をいただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

【岡島会長】

ありがとうございました。

それでは10月下旬頃ということで、日程が近づきましたら、また通知がありますので、よろしく願いいたします。

本日はこれで議事が終了ということになります。みなさん、どうもご協力ありがとうございました。これで終りにいたします。